

第2次 五個荘地区 だれもが人財 みんなで支えあうまち 五個荘

※人財…人は財(たから・尊い)という意味から「人財」という表現を用いています。



第1次計画をもとに居場所づくりや見守り活動、中学生の声を聞く機会づくりなどの取り組みが進んできました。



中学生懇談会



自治会に福祉委員の設置



命のバトンの普及・啓発



回覧板で見守り



生活支援サポーター懇談会



地域の憩いの場づくり



子育て世代の居場所づくり

みんなの声

中学生の声(中学生懇談会より)

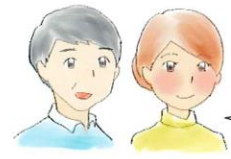
- ・やさしい人が多いから、五個荘は住みやすい
- ・忙しい中、スクールガードをしてもらえてありがたい
- ・中高生が参加したり、活躍できる機会が身近にない
- ・自分たちのことを、もっと頼ってほしい!



大人の声(住民懇談会より)

- ・地域には、ボランティア精神を持った人材が多い
- ・ふれあいサロンやカフェなどの居場所づくりが活発
- ・年配の方が元気

- ・高齢者のひとり暮らしが増え、若い人が増えない
- ・高齢者の中には、買い物に行く手段がない人もいる
- ・住民同士のつきあいを増やして、自治会を楽しみたい!



医療福祉の専門職や、当事者の声

- ・世間体が気になり、必要なサービスを利用できない人がいる
- ・日中、一人で過ごしている人が心配
- ・地域に障がいがある子どもがいることを知ってもらいたい
- ・子育て中の親の中には、悩みやストレスをうまく発散できない人がいる



子育て中の親の声(PTAアンケートより)

- ・五個荘は子育てしやすい環境と思う!
- ・登下校などのときに、ちょっとした見守りをしてほしい
- ・子どものちょっとした遊び相手をしてほしい



第2次計画策定までの流れ

第1次計画のふりかえり

懇談会やアンケートなど通じて、声集め

計画策定に向けて推進会議で検討(13回)

計画策定

第2次計画の進め方

五個荘地区社会福祉協議会を中心として、まちづくりに関わる人や団体が、推進会議で話し合い、連携、協力して進めていきます

第2次五個荘地区住民福祉活動計画は、「みんなの声」をもとに、みんなのできることや五個荘に必要なことをカタチにしたものです。

五個荘の伝統ある「六心の訓」を大切にしながら、「人づくり」、「場づくり」、「しくみづくり」、「つながりづくり」を柱に『五個荘地区住民福祉活動計画推進会議』で話し合い、推進していきます。

第2次五個荘地区住民福祉活動計画でより良いまちづくりを進めていきましょう!!

六心の訓

ろくしん おしえ

- はい (素直な心)
- すみません (反省の心)
- ありがとう (感謝の心)
- 私がいします (奉仕の心)
- どうぞ (互譲の心)
- おかげさまで (謙虚な心)

人づくり

- 助け上手な人、助けられ上手な人を増やしていこう。
- 病気や障がいのある人の理解を高めよう。
- 六心の訓の普及・啓発。

場づくり

- 自治会館や社会福祉施設などを活用した居場所づくりを進めていこう。
- サロンやカフェなどの「つどいの場」を充実させよう。
- 世代間交流できる場や世代別に集まれる場を広げていこう。

しくみづくり

- 困りごとを抱えている人と、お手伝いできる人がつながるしくみをつくろう。
- みんなが得意を活かせる“人財バンク”のしくみをつくろう。
- 災害時に支援が必要な人を見守る、防災・減災の取り組みを進めていこう。
- 命のバトンを活用した見守りを広げていこう。

つながりづくり

- 住民と医療や福祉の専門職とがつながる機会を増やしていこう。
- 地域の行事や「つどいの場が、つながりの場」であることを啓発していこう。
- 中学生たちが地域でつながり、活躍できる機会をつくっていこう。
- 子育て世代を支える応援団をつくろう。
- 各自治会で気になる人のことを見守り、話し合える場をつくっていこう。

第2次 五個荘地区住民福祉活動計画

だれもが人財 みんなで支えあうまち 五個荘

平成29年度～平成33年度

五個荘地区住民福祉活動計画推進会議
社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会